

SDGs 実践例紹介コーナー

今月のSDGs実践例紹介: ナゴヤ芯材工業株式会社



STEP
01

きっかけ

きっかけは「皆が一生懸命作っている製品をもっと知ってもらおう」という想いからでした。弊社の製品はドアや机、家具などの中芯材であり、あまり人目に触れるものではありません。そこでもっと認知してもらうためにSDGsの取り組みを調べ、親会社と一緒にになって推進・発信を行うようになりました。

STEP
02

2つの秘訣

①コミュニケーションを活発化させる

もともと全社員参加のプロジェクトとして、複数立ち上げたミニプロジェクトのひとつであったSDGsの取り組み。新入社員から熟練の職人までが同じ目標で話し合うことで、だんだんと社員たちから意見が出始め、活発な部門間の交流につながり継続的な活動も増えてきました。

②自由な発想を尊重する

各プロジェクトはあえて具体的なミッションを作らないことで、個人の趣味を活かしたものなど、自由な発想の商品アイディアが生まれています。現在そうしたアイディアを商品化し販売すべく、廃棄物を活用した製品やアップサイクル商品の企画を進めています。



STEP
03

結果

大きな変化は、社員が主体となって企画・立案を頑張ってくれるようになったことです。またSDGsの認定を愛知県や小牧市から受けたことで、廃棄されるものをどう活用できるなど、考え方方が変わったように思います。グループウェアを使った情報共有を通じて内部の活性化を図りつつ、より対外的な発信力を高められるように皆のアイディアを活かしていきたいです。

「新たな市場の開拓」「売上の増加」「他社との差別化」「企業イメージの向上」「従業員の定着率向上」等、SDGsへ取り組むことで得られるビジネスチャンスもあり、SDGs経営への関心も高まっています。

当所では、会員事業所の皆様のSDGs経営のサポートとして、東京海上日動火災保険(株)の協力を得て、『SDGs取組診断』サービスを無料で実施しており、当所ホームページよりお申込みいただけます。

また、本実践例紹介コーナーの記事も初回から当所ホームページで掲載しておりますので、是非ご覧ください。

企画例

- 安心して働ける**
 - 年齢・性別を問わず活して働きがいを感じら・SNSを活用した社内・社員の成長支援
- 環境作り**
 - 確実な職場環境への配慮を行い、社員が安心される会社を目指す。コミュニケーションの向上
- 環境対策**
 - 環境に配慮したハニカとともに地球環境に・環境に優しい紙素材・廃棄物の排出量抑制
- 品質管理**
 - 品質マネジメントシステムの継続的な改善を行い、製品・サービスの品質・生産ロスの削減・受入れ検査、出荷検査の徹底
- 社会貢献**
 - 地域社会の一員として・エコキャップ運動に・学生研究開発支援

SDGsの17の目標アイコン

▲健康経営優良法人
▲プラモデル用塗装ブース
▲ハニカムコア
▲端材を活用した爪ご
▲エコキャップ活動

会社概要

会社名 ナゴヤ芯材工業株式会社
所在地 小牧市東四丁目155番地
電話番号 0568-71-0111



包装資材及び物流機器販売などを行う株式会社トヨコンのグループ会社として昭和53年に創業。軽くて強くて無公害・省資源、地球環境に優しいペーパーカー・ペーパーパネルの製造販売、およびコア関連製品の2次加工製造を行う。大手建材・鋼板ドア・オフィス家具メーカー製品の芯材として採用されているほか、ニーズに即した開発・企画の案件にも対応している。



代表取締役
明石 耕作

中小企業支援ナビ代表理事

中小企業診断士



当社では社内ミニプロジェクトであるSDGs活動が発展したことで環境商品企画が生まれるようになりました。これは大きな成果です。今後とも当社製造技術の強みを活かしたSDGs商品企画を継続いただき、いつか避難所用建材開発など、ヒトを守る新ビジネスにもチャレンジいただきたいですね。

長谷川 雅彦